



菅原 啓二 広島支部 監事

高校生の頃からこの辺りは通っていましたが全く知りませんでした。

今回は、広島支部の菅原啓二選手に広島市工業技術センターを見学していただきました。競輪補助事業で導入された数々の試験装置や研究施設、技術支援の感想を伺いました。

競輪ってこんなことやってるんだ!!

広島支部の雰囲気は明るく和やかですよ。でもスター選手をなんとか出してきてほしいですね。その為にも頑張りたいです。

——広島市工業技術センターを見学していかがでしたか？

今まで、自分の見てきた競輪補助事業は、献血車とか検診車とかしか、直に見る事はありませんでしたが、このように、こういう大きい施設で、また建物自体も競輪の補助事業で建てられている物があるとは知りませんでした。

自分は高校生の時からこの辺りを良く通って、ジムとか通っていましたが、このような大きい施設が競輪補助事業で作られていたのは意外でした。全く知らなかったですね。びっくりしました。

広島支部では、支部の収益金や、テレビを原爆養護施設に寄付をしていて、テレビ番組や新聞に、広島支部長、副支部長が取り上げられました。これだけ大きな施設が競輪の補助事業で支援されているのなら、もう少し、市民の方々にPRをして欲しいと思いました。

特にこのような施設で、試験、研究開発された製品が、我々の身近にあるわけ、そのようなところを広く、皆さんに知っていただきたいですね。

見学した装置で、耐久試験をしていたLED電球は、自分たちの本場に身近にある物ですよ。それが競輪補助事業で購入された装置で試験をしているのですから、もっと関心を持って欲しいですね。

——さて、広島支部の雰囲気はいかがですか。

広島支部の選手は、広島市周辺に限定されるので、かなりまとまりがあると思います。みんな競輪場に集まって練習していますね。雰囲気は、明るくて和やかな感じですね。いまちょっとスター選手がいないので盛り上がるように頑張りたいですね。いま才迫勇馬選手が売り出し中で、競輪場でトレーニングして頑

張っています。

アマチュアをみると、今、少なくなっていますね。広島は自転車競技連盟が頑張っているのが、自転車競技人口はあると思います。今はロードの方に行っているようで、競輪の方は少なくなっていますね。草レースには、スポンサーになつたりとかはしているんですけどね。また、高校を回って、他競技からの勧誘をしていたりして活動しています。

選手はレースが本業なので、強い選手が増えていって、それを見て、競輪選手は凄いとみてくれて、選手を目指して欲しいです。とにかくレースを見ていただきたい、PRをして、競輪事業自体を良いものとアピールしていきたいですね。お客様にも是非広島競輪場に来て、楽しんでいただき、競輪を盛り上げていきたいと思っています。

——菅原選手の目標は？

そうですね。月並みですが、S級で走る事ですね。まだ35歳ですから、肉体的にもまだ上を目指せると思うので、頑張つて上でレースをしていきたいですね。

——ファンに一言

いままで以上に、競輪を楽しんでもらえるように、サービスの向上を目指して頑張りますので変わらぬ競輪を楽しんでいただきたいです。